

《第3回》

くまもと戦争遺産の旅 ～本渡空襲と天草海軍航空隊をめぐる～

昭和十九年三月、

天草市佐伊津には熊本県で唯一の
水上機専用の航空隊が開設され、
搭乗員訓練が始まりました。

ただ、翌年五月からは、戦局の悪化にともない
計八機の零式水上観測機が沖縄へ特攻出撃し、
当地と合わせて本渡も

米軍機の空襲にあいました。

天草に残る戦争の傷跡にふれ、
非戦への思いをつなげます。



